

「情報理論 –基礎と広がり–」

初版1刷に対する正誤表

(行の↑は、ページの下から数えた行数を示す.)

頁	行	誤	正
8	15	閉じた系のエントロピーは増加しない	閉じた系のエントロピーは減少しない
27	1	情報処理不等式	データ処理不等式
30	3	定理の証明	系の証明
88	↑12	加重平均符号語長に対するハフマン符号	符号語長の加重和に対するハフマン符号
88	↑10	加重平均符号語長 $\sum w_i l_i$	符号語長の加重和 $\sum w_i l_i$
88	↑9	加重平均符号語長を	符号語長の加重和を
88	↑8	加重平均を	加重和を
88	↑8	加重平均の	加重和の
92	↑4	最も小さい2つの確率 p_{m-1}, p_m をもつ $m-1, m$ に	最も小さい2つの確率 p_{m-1}, p_m をもつシンボル $m-1, m$ に
169	↑9	つまり $\epsilon = 0.2$	たとえば $\epsilon = 0.2$
172	↑3	$I(X; Y_1, Y_2) = 2I(X; Y_1) - I(Y_1, Y_2)$	$I(X; Y_1, Y_2) = 2I(X; Y_1) - I(Y_1; Y_2)$
175	↑17	X を決定するまでに必要な決定的な質問の回数は何回か?	決定的な質問を何回か続けて X を決定するとき、必要な質問の回数はいくつか?
175	↑4	$(X_1(W), Y_1, Y_2, \dots, Y_{m-1})$	$(X_1(W), Y_1, Y_2, \dots, Y_{n-1})$
183	6	量子化したときの微分エントロピーは,	量子化したときのエントロピーは,
193	↑1	$EX^2 + 2EXEZ + EZ^2 = P + N$	$EX^2 + 2EXEZ + EZ^2 \leq P + N$
249	17	$R(D) \geq g(c) - g(D)$ を示せ.	$R(D) \geq c - g(D)$ を示せ.
253	↑7	Kolmogorov とソビエト連邦の彼の学校	Kolmogorov とソビエト連邦の彼の学派
254	10	系列 \mathbf{x} のタイプをを	系列 \mathbf{x} のタイプを
272	9	情報処理不等式 (これは	データ処理不等式 (これは
272	9	情報処理不等式と同様に	データ処理不等式と同様に

頁	行	誤	正
276	1	$g(x_1, x_2, \dots, x_n) = 0$ が H_2 の	$g(x_1, x_2, \dots, x_n) = 2$ が H_2 の
296	↑8	式 (13) の右辺の和	上式の右辺の和
297	1	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i^2 \geq \alpha$	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i^2 \geq \alpha^2$
383	↑11	$p(\mathbf{s}) \doteq 2^{n(H(S) \pm \epsilon)}$	$p(\mathbf{s}) \doteq 2^{-n(H(S) \pm \epsilon)}$
384	8	$p(\mathbf{s}_1) \doteq 2^{-n(H(S_1) \pm \epsilon)}$	$p(\mathbf{s}_2) \doteq 2^{-n(H(S_2) \pm \epsilon)}$
384	10	$p(\mathbf{s}_2 \mathbf{s}_1) = \frac{p(\mathbf{s}_1, \mathbf{s}_2)}{p(\mathbf{s}_1)} \doteq 2^{-n(H(S_2 S_1) \pm 2\epsilon)}$	$p(\mathbf{s}_1 \mathbf{s}_2) = \frac{p(\mathbf{s}_1, \mathbf{s}_2)}{p(\mathbf{s}_2)} \doteq 2^{-n(H(S_1 S_2) \pm 2\epsilon)}$
385	3	$A_\epsilon^{(n)}$	$A_\epsilon^{(n)}(S_1, S_2, S_3)$
385	6	$A_\epsilon^{(n)}$	$A_\epsilon^{(n)}(S_1, S_2, S_3)$
385	9	$A_\epsilon^{(n)}$	$A_\epsilon^{(n)}(S_1, S_2, S_3)$
516	↑1	Györfi	Györfi
516	↑3	Györfi	Györfi
539	右 ↑22	Györfi	Györfi
554	右 ↑14	データ処理不等式 26 , 32, 35, 272, 509	データ処理不等式 26 , 27, 32, 35, 272, 509

初版 1 刷に対する訳注の追加

頁	行	訳注の挿入箇所と訳注
43	↑2	定理 2 の性質 2 が得られる ¹⁾ . ¹⁾ 訳注：正確には，式 (3.6) の中の「 \leq 」を「 $<$ 」に置き換えたものが得られる.
46	↑3	もし， $\delta_n \rightarrow 0$ と $\epsilon_n \rightarrow 0$ が成り立つならば ²⁾ ²⁾ 訳注：式 (3.27) が成り立つためには， δ_n と ϵ_n は十分にゆつくりと 0 に収束する必要がある.
174	↑10	である ¹⁾ . この通信路の ¹⁾ 訳注： $\bar{\alpha} = 1 - \alpha$.
218	12	$\mu_i = 0$ のとき ³⁾ . ³⁾ 訳注： μ_i は， Z_i の平均値.